

令和7年度 指定管理者施設管理評価シート

施設名称		27 東京都台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター	部課名	福祉部高齢福祉課	
選定方法		<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理者	社会福祉法人健修会	
			指定期間	R6.4.1	～ R11.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区台東1-25-5 [規模] 延21,236.85の内1,147.49 RC造地上14階地下2階のうち3階の一部 デイルーム、食堂、機能回復訓練室、談話室、クリーンルーム等
(3)	[委託事業] ①認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等) ②介護予防認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・生活相談等) 定員12名 [自主事業] なし
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日(1月1日から1月3日を除く) 午前9時～午後5時
(6)	[人員体制] 9名 (内 訳) 施設長(1)←特養と兼務、生活相談員(1)、看護職員(1)、介護職員(常勤5、非常勤1)、 管理栄養士(1)←特養と兼務、機能訓練指導員(1)←特養と兼務、事務員(4)←特養と兼務、運転手(非常勤1) (前年増減)

2. 予算決算		R5予算	R5決算	R6予算	R6決算
収入	委託料(指定管理料)			4,000,000	4,000,000
	利用料金収入			28,390,000	23,978,785
	その他収入(補助金事業収入)			276,000	1,571,400
	計	0	0	32,666,000	29,550,185
支出	人件費			21,271,000	31,089,994
	光熱水費			3,286,000	7,013,490
	維持管理費(委託料・賃借料)			1,256,000	6,195,350
	修繕費			162,000	57,376
	事業費			0	0
	その他支出(手数料・事務消耗品費等)			6,691,000	6,281,876
	計	0	0	32,666,000	50,638,086
収支			0		-21,087,901

3. 活動指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
開館日数	日	311	-	-	311
定員	人	12	-	-	12

4. 成果指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用率	%	60	-	-	49.5
利用者数	人	2210	-	-	1825

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

令和6年度より指定開始のため、前回評価はなし。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
 (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
18 / 20 点	関係法令の遵守、事業計画書の提出等、全体として概ね適切な管理が行われている。また事故発生時の対応と報告について軽微な課題があり、改善を図る必要がある。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	施設の稼働状況が目標に到達しなかったが、法令に基づいた有資格者の配置、施設管理に必要な研修の実施等、適切な事業運営がなされている。また外国人職員の利用を考慮した介護記録用タブレットを用意する等、DXの推進に取り組んでいる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	定期点検で不具合を把握し、故障した際に速やかに修理を行う等、適切な施設管理維持が行われている。またごみ分別の徹底や節電節約の呼びかけも行き、環境に配慮した取り組みも行われている。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
15 / 20 点	送迎時や施設行事を通して意見や要望を聞き取り、サービス向上に努めていたが、アンケート等で利用者ニーズを細やかに把握し、サービス向上にむけた取組を行う必要がある。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
10 / 20 点	予算と比べ、利用料金減収及び支出増加となり、収支が大幅なマイナスであった。利用率向上の取り組みや施設運営コストの見直し等、効率的な施設運営を追求し、収支状況の改善を図る必要がある。

(6) 優れた取り組み <<加点項目>> ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
—	点

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

適正 (82 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>前指定管理者からの事業引継後、利用者が安心して利用できる環境の整備、協定等に基づいた適切な運営に努めていた。しかし収支面では、予算比で収入減・支出増であるため、収支の改善に向けた運営が課題である。</p>	<p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>事故発生時の連絡体制に課題があるため、見直しが必要である。また支出が予算を超過し、大幅なマイナス収支となっているため、コスト削減及び利用率向上に向けて取組み、収支状況の改善を図る必要がある。</p>
-------------------------------	---	--